

学校関係者評価

令和 5 年 3 月 1 日

船橋市立葛飾中学校

本年度、本校の部会は、学習指導部、研究研修部、道徳指導部、特別活動指導部、生徒指導部、GIGA SCHOOL研究部、管理部および教務事務部を設置した。

それぞれ学校評価結果をもとに振り返りを行い、次年度に向けた具体案について検討した。

また、学校評議員の意見や感想を参考に、次年度につなげ「よりよい学校」を目指したい。

1. 各部会より

【学習指導部】

（今年度の成果）

- ・ 学習予定表を定期的に出すことで、生徒に学習の見通しを持たせることができた。
- ・ 学習委員会との連携を図り、学習指導部の活動をより委員会を通して学校生活につなげることができた。
- ・ 総合テストに向けて学習指導部内での連携を強め、学年を越えて流れを確認しながら動くことができた。
- ・ アンケート結果をもとに計画的に物流システムを活用し、市内の学校だけでなく公共図書館からも図書を取り寄せ、授業を行う先生方が増えた。
- ・ 授業での図書室活用時や学級での先生方の呼びかけもあり、個人貸出も伸びた。先生方も気軽に図書室を訪れ、学校司書と授業での図書の有効活用について相談する姿が多く見られた。

（来年度の方針・改善策等）

- ・ 生徒の自主的な活動を高めながら、今後も学習の心構えや学習規律の定着を図っていく。
- ・ 学習意欲を喚起するために、委員会を中心とした活動を意欲的に行っていきたい。
- ・ 授業や課題提出の様子をつかむためにも、学級担任と教科担任との連携は密にとれるようにする。あわせて、課題が出せない生徒に対しても支援できるように協力していく必要がある。
- ・ 個に応じた指導を目指していく。
- ・ 帰国・外国人生徒が、彼らの経験を紹介したり、共有したりする機会を作っていきたい。
- ・ 転入生がハートルームと日本語教室を同時に使うことがあった。連携を強めていきたい。
- ・ 授業で図書室や図書の本を使う機会を増やしていきたい。
- ・ 朝読書の時間 8：20～8：30の10分間を設けたことにより、読書の習慣づけや落ち着いた時間を過ごすことに繋がった。読書の意義を各教職員が理解し、共通認識を図っていきたい。

【研究研修部】

（今年度の成果）

- ・ 11月の公開研究会に向けて、年間を通して計画的に研究主題に即して職員研修を進めることができた。
- ・ 今までの研究を研究紀要にまとめ、学校全体のグランドデザインを作成した。
- ・ 総合的な学習に関しても、研究主題に即した3年間の計画を研究研修部として作成し、実践を積み重ねている。内容も年々充実したものになっている。

（来年度の方向性・改善策等）

- ・ 来年度に関しては、引き続き研究テーマに即した実践を学校全体の教育活動を通して継続的に行うことが必要である。学校評価に関しては、概ね良好である。今までの形を生かした研究・研修を推進していくこと、そのための体制づくりが必要であると感じている。
- 総合的な学習の時間も同様に、今後も研究テーマに沿って継続した取り組みが必要である。

【道徳指導部】

（今年度の成果）

- ・ L G B T週間に合わせて、L G B T集会を外部から講師を招いて実施できた。また、教員が授業を行うには知識が必要で難しい内容だったが、講師の方が生徒たちにもわかりやすく話してもらえたことで、生徒の理解が深まった。
- ・ ローテーション道徳を実施できた。1つの教材を何度も授業をしたり、同じ教材の担当同士で話し合えたりしたことが良かった。

（来年度の方向性・改善策等）

- ・ 行事前にはその準備の時間を確保できるよう教務と相談し、やむを得ず道徳を振り替える場合は、その時間を振り替えるようにする。

【特活指導部】

（今年度の成果）

- ・ 中央委員会に各学年長が参加することで、学校全体に生かすことができた。
- ・ 掲示物を作ったキャンペーンを行い、学級での呼びかけが増えた。
- ・ 委員長を第1回委員会ではなく事前に決めたことで、1期の活動を活発にできた。
- ・ コロナ禍でできる活動を考え、オンラインによる集会を行うことができた。

（来年度の方向性・改善策等）

- ・ 委員長は学年ごとに選挙等を行い、事前に決めることで、委員会活動の動き出しを早める。
- ・ 学年を通したキャンペーンなどの活動を行い、学校全体で行う。
- ・ 生徒会担当の負担が大きかったので、年度当初の役割分担を明確にする。

- ・学校全体への連絡手段の確立。クラスルームの活性化。
- ・資料の保存場所の確立。コロナ前の状況を知る先生も少なくなっているので、資料を引き継ぎ、生かせるようフォルダを整える。
- ・運営委員会に行事の担当者を参加させ、綿密な打ち合わせを行う。
- ・ベテランの先生から助言を受ける場を整える。

【生徒指導部】

（今年度の成果）

- ・『誰ひとり取り残さない生徒指導』を掲げて、生徒の声に耳を傾ける、生徒を見守る、生徒ともに動く、生徒と夢を語るなどについて取り組んできた。
- ・令和5年度新入生から、男女のブレザー、スラックス・スカートへ制服のフルモデルチェンジに向け準備を進めた。
- ・校則・生活の手引きを『KATSUSHIKA GUIDELINE』として手直しをした。
- ・どんなときでも、どこからでも相談できる場所として、生徒対象の悩み相談『葛の葉A Z』を開設し、問題の早期発見に努めた。
- ・いじめアンケートを年3回実施し、アンケート結果から教育相談を実施、さらに、いじめの問題については、いじめ対策委員会で検討した。
- ・生徒手帳を廃止し、カード型の身分証を発行。身分証にはQRコードがあり、読み取ると葛飾中ホームページを見ることができて様々な情報が得られるように作成中。
- ・『葛飾P R A I D E』（生徒憲章）の策定に向け、大人になっても葛飾中生だったから今があると思えるような3年間を過ごすためにどんなプライドを持っていけばいいか生徒会を中心に検討している。

（来年度の方向性・改善策等）

- ・いじめ問題、特にスマホを使ったSNS上でのいじめ対応策として、講演会を実施したり、生徒会中心にいじめ撲滅運動を実践したりしていきたい。
- ・生徒指導における『報告・連絡・相談』の徹底と情報共有し、ひとりの生徒の問題をひとりだけの判断ではなく、学年・学校の問題として考え、解決を図っていく。
- ・生徒や保護者に寄り添うことを基本とし、家庭訪問・別室登校・放課後登校・WEBの活用等さまざまなアプローチを実践していく。
- ・学校・家庭・地域の連携強化を図り、『中山ごはん』の募金箱設置協力を行う。

【GIGA SCHOOL研究部】

（今年度の成果）

- ・端末の持ち帰りに関する校内体制の整備やオンライン環境の整備・指導の充実を図ることができた。

(来年度の方向性・改善策等)

- ・携帯電話やスマートフォンの使い方について、家庭で約束したことを守っていると回答した生徒が多くなっている。しかし、使い方については、指導の機会が多かったため、来年度は情報モラル教育に注力していく必要がある。また、教員の指導力向上にむけ、ICT支援員と連携した研修を計画していくことが必要である。

【管理部】

(今年度の成果)

- ・委員会をグーグルミートなどを活用することで、効率的に運営することができた。

(来年度の方向性・改善策等)

- ・生徒が主体的に清掃に取り組む環境を醸成していく。
- ・学校自己評価(職員)で「清掃カットが多い」という指摘を多く受けたので、教務主任との連携を図りたい。可能な限り、清掃ができる日を増やすようにしたい。特に三者面談期間などは、清掃がないと廊下や教室にほこりがたまってしまい、保護者を迎え入れるにふさわしい環境とはいえない状況になってしまうので、教務主任と連携を図り、清掃カットを減らすようにしていく。
- ・教職員のごみ処理について、不燃物を可燃物倉庫前に置かれている場合があるので、出し方について周知徹底を図りたい。

【教務事務部】

(今年度の成果)

- ・「指導と評価の一体化」の推進を図ることができた。
- ・各教科の「年間指導計画」の明確化し、1月～2月ごとに「学習予定表」を発行した。
⇒見通しを持った主体的な学習ができ、教師の授業改善と生徒の学習改善が図られた。
- ・定期テストを「評価課題」とし、ペーパーテストに限らず多様な評価課題を実施できた。
- ・実力テストを「総合テスト」として、進路指導に活用し、評価課題の一つとした。
⇒生徒の実態にあった進度調整ができ、授業の創意工夫ができた。
- ・日課時刻表を柔軟に運用できた。
- ・朝読書の設定、清掃活動の時間の確保し、メリハリのある学校生活や基本的な生活習慣の向上が図れた。
- ・生活面、学習面を保護者と共有する三者面談を年2回実施した。

(来年度の方向性・改善策等)

- ・「指導と評価の一体化」をより明確に、わかりやすくする。
- ・今年度の取組を振り返り、成果を生かし、課題を改善している。教科主任を中心に各教科部会で検討し、本校の「指導と評価について」を、生徒・保護者向けに作成していく。

2. 学校評議員の方々より（学校関係者評価）

- 先ずは挨拶が全ての基本と思います。
- 目標に向かって教職員の皆様は日々努力していると思います。
- コロナ禍の中色々と制約があると思います。挨拶は、先に挨拶してくれる生徒もいるが、こちらからすると挨拶してくれる生徒が多いと思う。
- いつも子ども達の為に尽力下さり、本当にありがとうございます。
- 葛中生＝「元気な挨拶」というイメージがあります。マスク生活が長引いている事も原因の一つかもしれませんが、自ら進んで「元気な挨拶」が出来る葛中生であって欲しいです。
- スクールガード活動中に合う小学生はこちらからの挨拶に対して必ず挨拶を返してくれます。一方葛中生徒は、部活動をしていると思われる生徒は比較的挨拶を返してくれますが、他の生徒は挨拶を返してくれる生徒が少ないです。
- 学習指導要領の趣旨に基づき適正に編成するのは少々困難なようです。
- 授業時間数や時間割の変更などで、先生方のご苦労を感じます。
- コロナ禍の中、調整が大変だったと思います。
- 分掌の方法として、マトリックス組織も一考。
- 相互の連絡調整をとり、組織として機能させる努力をしていると思いました。
- 教職員から校務分掌があまりない又あっても分掌内容について厳しい意見があります。更なる対応改善が必要だと思います。
- 教職員の取組に積極性を感じます。
- 保護者会、家庭訪問、授業参観、面談、家庭への通信等が、家庭との連携を深めるために活用されているようですが、時々生徒が通信を忘れる事があるようです。
- 職員間のコミュニケーション不足が要因と推測されるものがあります。マンモス校の宿命かもしれませんが、更なる改善や対応をお願いします。
- 会計は正確に処理されていると思います。
- 指導内容の精選と重点化を意識的に行い、基礎基本の確実な定着を図るために具体的な取組を実践していると思われます。
- 2日目のテスト終わりの後で、授業がある事が大変そうで、授業日数もあると思いますが、改善出来ればと思います。
- 「趣旨を十分に理解して実践する」地域の人材を生かした有効な活用が図れているようです。開かれた学校づくりの推進を期待いたします。
- アパートやマンションが建ち並び、畑などが少なくなる中、サツマイモの栽培をして収穫が出来る体験など、地域の皆さんや保護者、葛の葉サポーターさんたちの地域の力だと思う。
- 地域の方々との関わりの中に公民館も含めていただきたいです。
- 道徳指導について世相が良好でない中、指導も大変と存じますがよろしくお願い致します。

- 道徳で指導に必要な資料を用意し、効果的に活用しているとの事。今後の指導に期待します。
- 部活動については、先生方が多忙のなか努力して指導されていると思います。全国大会等に出場出来る生徒は、個人的に指導者をつけて努力していると思います。
- インターネット、スマートフォンの利用について、総務省の「国民のための情報セキュリティサイト」をご参考に。
- 教育活動で、ＩＣＴ機器を効果的に活用されているとのこと。大変良いと思います。
- パソコンを操作している生徒を見ていると、指一本でキーボードを打つ私には、これからの時代に絶対に必要なスキルだと思う。
- スクールカウンセラーとの連携を密にし、問題解決に努められている事は、大変良いと思います。
- 心の悩みやいじめなど、口には出せない問題と思いますが、いじめアンケートなどで、読み取って欲しいと思います。
- 環境整備に関して、「トイレ改修工事」進むと良いのですが…。

～多くの貴重なご意見ありがとうございました～

保護者の皆様、学校評議員の皆様には、葛飾中生徒の健やかな成長を心から願い、アンケートに真剣に答えて頂きました。ありがとうございます。その中には教職員の指導や取り組みに対し、励ましのお言葉を頂いたものもあり感謝申し上げます。

今後も、このアンケートから伝わる皆様の願いに応えるべく、教職員が一丸となって、真摯に児童の育成や教育に取り組み、保護者の皆様と手を携え、地域の皆様と肩を組みながら邁進していく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。